

イベント報告

第 25 回イブニングセッション
『コロナ禍を乗り越える
テクノロジーを梃子とした新しい医療のあり方』

大石 佳能子 原 聖吾 永田 智也

新型コロナウイルスの影響により、生活・産業・社会のあり方に変化が求められている。

特に、医療領域の変化は殊更重要である。各国の新型コロナウイルスによる被害の程度の変数に「医療体制（制度）の違い」があるという指摘もある。本邦において山中伸弥京都大教授が提唱される「ファクター X」（日本において新型コロナウイルスの被害を抑えている要因）は、日本の医療現場・医療従事者の能力の高さと高い職業倫理感に基づく「滅私奉公」とも取れる尽力の結果ともいえるのではないだろうか。

多くの感染症専門家は、SARS-CoV-2/COVID-19 のような新型感染症は今後更に頻発し、世界の驚異となることを警告する。未来を見据え、私達は今回の COVID-19 に学び、迎え撃つために新しい医療のあり方を具体化・実装していくべきである。

一方で、「コロナ禍」以前から、財政を圧迫する医療費削減、医療現場の働き方改革等々、サステナブルでかつ更に質の高い医療に向けた変化への要請は既に強くあった。変化を可能にするデジタル・AI 等新技術を梃子にしたオペレーション改革が求められていた。

今回のイブニングセッションでは、医療を進化させる武器（データ・テクノロジーを用いたプロダクト）の創造に挑んでいる株式会社 MICIN（<https://micin.jp/>）代表取締役 CEO 原氏、武器を活用しながら医療現場で進化を実際に牽引している株式会社メディヴァ（<https://mediva.co.jp/>）代表取締役 大石氏という二人のリーダーをお招きし、テクノロジーを梃子にした新しい医療のあり方の一端を、議論いただきたい。

■登壇者

大石 佳能子

株式会社メディヴァ 代表取締役

大阪大学法学部、ハーバード・ビジネススクール、マッキンゼーを経て、(株)メディヴァを設立。厚生労働省・経済産業省・内閣府等の医療・介護に関する政府委員を歴任。現・内閣府規制改革推進会議医療介護 WG 座長も務める。医療法人社団プラタナス総事務局長、ハーバード・ビジネス・スクール日本諮問委員、大阪大学経営協議会委員も兼任。(株)資生堂、江崎グリコ(株)、参天製薬(株)非常勤取締役。

原 聖吾

株式会社 MICIN 代表取締役 CEO

東京大学医学部卒、マッキンゼーを経て、株式会社 MICIN を創業。医師。厚生労働省「保健医療 2035」事務局にて、2035 年の日本における医療政策についての提言策定に従事した。横浜市立大学医学部非常勤講師。スタンフォード MBA。

■モデレーター

永田 智也

D3 LLC マネージングパートナー

日本ビジネスモデル学会 プリンシパル

■日時・場所

2020 年 9 月 30 日（水）18:00-19:30

オンライン

イベント報告

第26回イブニングセッション
『行動経済学はビジネスモデルをどう変えるか』

岩澤 誠一郎 小山 龍介

行動経済学は、従来の合理的な経済人というモデルを乗り越えるアプローチとして、大きな注目を集めている。さまざまな場面で人は非合理的な意思決定を行っている。経営において合理的に判断すればするほど、そうした非合理性とのズレを生み出してしまう。こうした合理性の罠に陥らないようにするにはどうすればよいのか。またそうした非合理的な人々の行動を前提としたときに、ビジネスモデルはどのような適応を迫られるのだろうか。

9月25日に『名古屋商科大学ビジネススクール ケースメソッド MBA 実況中継 04 行動経済学』を上梓された岩澤誠一郎教授をお招きして、行動経済学の最前線をお伺いするとともに、新しいビジネスモデルの地平を探っていく。

■登壇者

岩澤 誠一郎

名古屋商科大学ビジネススクール 教授

1987年野村総合研究所入社。証券アナリスト業務に従事。2006年から野村証券でチーフ・ストラテジスト。10年にマネージング・ディレクター。12年から名古屋商科大学ビジネススクール教授。13年に同大学経済学部長に就任。専門は金融経済学・行動経済学。International Review of Economics and Finance 誌などに論文を発表。米ハーバード大学博士（経済学）。

■モデレーター

小山 龍介

日本ビジネスモデル学会 プリンシパル
株式会社ブルームコンセプト 代表取締役
名古屋商科大学ビジネススクール 准教授

■日時・場所

2020年10月20日（火）18:00-19:30

オンライン

イベント報告

第27回イブニングセッション
『ブロックチェーンが拓く新たなビジネスモデル』

梶原 将翔 鶴澤 義章 増田 剛

ブロックチェーンが「破壊的な」技術であると持て囃されて早くも数年が経過した。ともすればビットコインのような暗号資産の価格の騰落に注目が集まり、いまだ投機的な見方をされがちだ。また、米国の調査会社ガートナーによるハイブサイクル分析ではブロックチェーンは幻滅期を脱していないと評価されている。しかし、実際に進行しているプロジェクトの中には、今後の拡大可能性を伺わせるものが少なくない。また、昨今の官民におけるデジタル化の潮流も、ブロックチェーンの社会実装を加速させる要因となっている。

ブロックチェーンがビジネスの在り方をどのように変えつつあるのか、多くの実プロジェクトに携わっている株式会社 LayerX から梶原将翔マネージャーをお招きし、最前線のケースを引き合いに出しながらお話しいただく。さらに、保険領域におけるブロックチェーン活用について、SOMPO ホールディングス株式会社との協業事例についてもご紹介いただく。

■登壇者

梶原 将翔

株式会社 LayerX マネージャー

早稲田大学商学部卒。東証一部教育企業にて最年少営業マネージャーを経験後、IT 企業の創業期に参画。役員として、ニッチな領域で日本一になった不動産ポータルサイトならびに、それを起点として川下に複数の関連事業を展開。独立後はベンチャー企業の新規 IT 事業立ち上げ支援を専門として多数のプロジェクトに関与。2019年、産業におけるブロックチェーン活用の可能性に未来を感じ LayerX に参画。好きな言葉は神戸大学・加護野

忠男先生の著書『人本主義企業』の副題である「変わる経営－変わらぬ原理」。

鶴澤 義章

SOMPO ホールディングス株式会社 デジタル戦略部
課長代理

新卒で NTT ドコモへ入社し、主にスマートフォンユーザ向け大規模システム開発に従事。ユーザ数を 3000 万超までスケールさせた後、2016 年より SOMPO ホールディングスに参画。国内 / 海外スタートアップとの提携や最先端技術を活用したグループ全体の DX の推進を担当。

■モデレーター

増田 剛

日本ビジネスモデル学会 プリンシパル

三菱重工業・Accenture・三井住友銀行を経て、現在は株式会社ブロックチェーンハブ COO としてブロックチェーンの社会実装及びコミュニティ運営に携わる。他に、日本セキュリティトークン協会 代表理事、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員、大阪大学オープンイノベーション機構アドバイザー、海外スタートアップのアドバイザーも務める。東京大学経済学部卒業、英ケンブリッジ大学 MBA、英オックスフォード大学フィンテックプログラム修了。

■日時・場所

2020 年 12 月 3 日 (木) 18:00-19:30

オンライン

イベント報告

第28回イブニングセッション
『オタク経済圏創世記
コンテンツビジネスの新たなビジネスモデル』

中山 淳雄 渡辺 哲也

2010年代に動画配信によって日本のオタク文化商品の普及が決定的になった。その成功には漫画アニメとゲームが一緒になって文化コンソーシアムを作っていた事は決定的な要因になっている。

マンガ・アニメ・ゲームは市場としてみなされにくい特性があった。存在する商品のユーザーがただ熱狂して、たまたまそこに経済がスポットで生まれる単なるヒット商品の集まりのようには見られていない傾向がある。

だが、こうしたエンターテインメント産業も他の製品と同じように、国、制度、社会、文化の壁を越えるために様々な工夫がなされ、類似商品、類似産業の成功、失敗をラーニングしながら組織的経験を蓄積しバリューチェーンとして事業を展開している。

「ライブコンテンツ化」とはユーザーの需要に応じて物語を提供し続けることである。好きになったキャラクターについて理解を深め、消費を届けようとするれば必ずそこには新しい商品や体験がある。その喜びや消費の仕方を共有し合うコミュニティにもアクセスできる。こうしたコンテンツが生きている状態を指す言葉でもある。供給と消費の「ライブコンテンツ化」が21世紀にオタクジャンル商品を輝かせ想像以上の市場を形成している。日本コンテンツの海外開拓・アニメの動画配信による新市場創造など、海外でのIP展開事例などを交えて議論したい。

■登壇者

中山 淳雄

株式会社ブシロード 執行役員
早稲田大学ビジネススクール 講師

エンタメ社会学者

ブシロードでアプリゲーム、トレーディングカード、アニメ、新日本プロレスなど日本コンテンツの海外展開を担当。リクルートスタッフティング、DeNA、Deloitteを経て、バンダイナムコスタジオでカナダ/シンガポール/マレーシアで会社・事業立ち上げ。シンガポールでブシロードインターナショナル社長に就任、2019年4月より帰国して現職。

著書に『オタク経済圏創世記－GAFアの次は2.5次元コミュニティが世界の主役になる件』『ソーシャルゲームだけがなぜ儲かるのか』『ヒットの法則が変わった－いいモノを作っても、なぜ売れない?』など。

■モデレーター

渡辺 哲也

株式会社電通 事業企画局 Consulting Manager
新卒で電通入社。メディア・コンテンツ部門、海外部門などを経験。アニメ番組、映画への出資、事業投資などグローバル・コンテンツビジネスに精通。現在、チャイナテックやブロックチェーン、コンテンツテックなど新規事業領域のマネジメントを担当。得意領域はコンテンツの海外展開とアニメの生態系の研究。国内外のコンテンツ関連イベントでの講演多数。早稲田大学ビジネススクール（MBA 修了）慶應義塾大学メディアデザイン研究科博士後期課程在籍中。

■日時・場所

2021年4月15日（木）18:00-19:30
オンライン